



# レポートの執筆

## 1. 原稿

ワープロソフトを使用して A4 版の大きさの用紙に報告内容を編集し(文の他にも図や表、写真を使用することも可能)、学習管理システムの「レポート」に提出する。

## 2. ワープロソフトの設定

用紙設定 : A4 サイズ

文字数と行数: 40 字 × 30 行(1 ページ 1200 字設定)

文字の大きさ: 見出し以外の本文は 10 または 10.5 ポイントを基本とする

枚数: ショートレポートは 1~2 枚程度 最終レポートは 10 枚以上

その他書式 : 裏面を参照

## 3. 執筆内容の見直し

文法の見直し: 「である」調で統一されているかどうか 接続詞は正しいかどうか

分かりやすさ: 同じことを繰り返していないかどうか いたいことが分かるかどうか

## 3. 提出時の注意

### ファイル名

「\*\*\*\*レポート」というファイル名で提出する人が多いですが、これではダウンロードした時に誰のファイルかが分からないので、必ずファイル名を「ID 番号-チーム名-氏名」に変更してから提出してください。

### 再提出の時

提出期限までに時間があるとき、レポートを修正して再度提出することができます。ファイルを指定した後に「コメント」欄に「 月 日 再提出しました」とひとこと書き添えてください。

### 何らかのトラブルで指導者に相談メールを送る時

学習管理システムの「個人情報変更」「メールアドレスの変更」で返事が受信可能なメールアドレスであるかどうかを確認してください。メールアドレスが間違っていたり、古いメールアドレスであったり、すぐに返事が確認できないメールアドレス(例えば携帯に返事が欲しいのに大学のアドレスを登録していた場合はすぐに返事を確認できません)だったときは、すぐに連絡できなくなりますので気をつけてください。

原稿の書式

↑ 余白 上下左右 20～25 mm

**タイトル(12ポイント or 14ポイント)**  
 学籍番号 学科 回生 チーム番号 構想した学校・幼稚園名  
 氏名

**1. (「はじめに」 など)**  
 内容ごとに小見出しをつけて、整理して書く。1つの小見出しにつき、何十行も書いてしまうと大変読みづらいので必要ならば「小見出しの小見出し」を付けてもいいので、コンパクトにまとめるように心がける。

7 週目のショートレポート(1回目)で書くこ

**2. (「構想した学校の特色」 など)**  
 (構想した学校の特色などを整理して説明する)

2 回目のショートレポートや最終レポートでは、このような方法で記述します。

**3. (「検討したい教育課題」 など) 以下例文です。**  
 私たちの学校は、主に学力低下の問題に注目している<sup>1</sup>。……  
 ……荻谷(2002)<sup>2</sup>は、2001年11月に関西都市圏で小中学生を対象に「学力テスト」と「生活・学習アンケート」を実施し、1989年に大阪大学のグループが実施した調査結果とを比較している。荻谷は、この調査により社会的階層によって学力の格差が生じていることを明らかにしている。……文部科学省は、ホームページで「子どもたちの学力の現状」を公開している。<sup>3</sup>……吉崎(2004)は、「教育の方法と技術」の中で「一人ひとりの子どもに基礎的な学力を培うためには、子どもの学年段階、教科の特徴、単元内容、教職員の人数などを考慮しながら、多様な学習指導法を導入する必要がある」と述べている。<sup>4</sup>このように……

<sup>1</sup> どのような教育問題を取り上げたのかを明確にする。その上でどのような学校を構想したのかを説明するとよい。

**参考文献・URL ( 2・3 参考にした文献・URL は以下のように記述する)**  
 荻谷剛彦ほか(2002)「岩波ブックレット No.578『学力低下』の実態」岩波書店  
 文部科学省「子どもたちの学力の現状」  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/gakuryoku/genjo.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/genjo.htm) (2004.11.8 アクセス)

**引用文献 ( 4 文献の一部を引用した場合は必ず出典を記述する)**  
 吉崎静夫(2004)「学力と学習の自己責任」『教育の方法と技術』ミネルヴァ書房 p.67 ( 複数ページの場合は「pp. - 」)

↓